

ダイバーシティセミナー

『LGBTQの学生に対する配慮、支援について』を開催しました

6月28日(金)に、早稲田大学GSセンターの大賀一樹氏をお迎えし、ダイバーシティセミナー『LGBTQの学生に対する配慮、支援について』を開催しました。

大賀一樹氏は、NPO法人共生社会をつくるセクシャルマイノリティ支援全国ネットワークの理事であり、臨床心理士として、東京都の公立学校スクールカウンセラー、早稲田大学においては、国内初のセクシャルマイノリティ学生支援の部署であるGSセンターに専門職員として従事しながら、ジェンダー平等社会の実現を目指して幅広く活躍していらっしゃいます。

セミナーは、大賀氏自身のセクシュアリティについてや、早稲田大学でどのようにしてGSセンターが設立されることになったのか、GSセンターではどのようなことを行っているのか、また、GSセンターでLGBTQの学生からどのような相談があるのかなど、本学で今後支援をすすめていく上で、大変参考となることをお話しいただきました。

受講者からは、「他大学の組織化された先進的なとりくみについて学ぶことができ良かった」との感想があった一方、「『学生から相談がないから（LGBTQの学生は）いない』という意見をよく聞くが、そうではないことをしっかり皆が認識する必要がある」「教職員の出席者数が少ない。教職員の意識が低いためだと思う。今後のためにも意識を高めるような工夫が必要。」との意見が寄せられました。

